

稲作だより

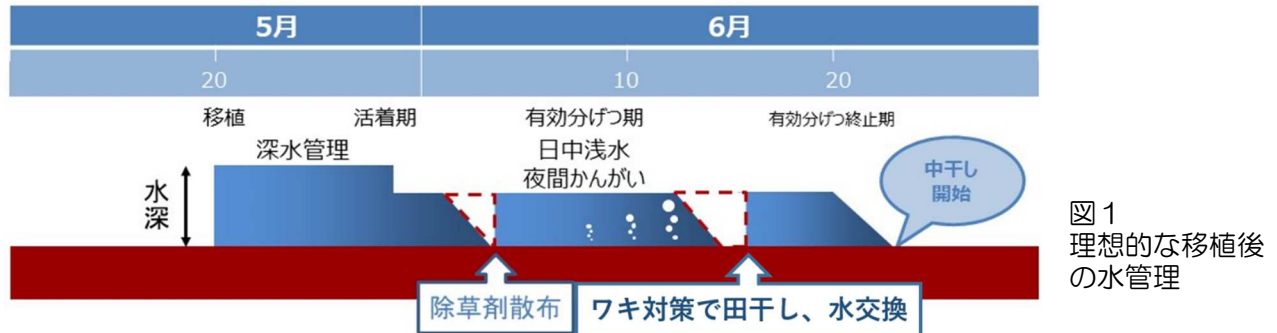
第 5 号
本田初期
水管理編

令和5年5月18日発行
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト
最上地域本部
最上総合支庁農業技術普及課
Tel 29-1329（稲作担当）

向こう1か月の気温は高い見込み※
土壌の異常還元（ワキ）に注意！

※5/18 気象庁東北地方の1か月予報より

<本田初期 ～水管理のポイント～>



◎本田初期の基本的な水管理 ～生育ステージに合わせた水管理～

活着期は水深4～5cmの深水管理で発根促進

風や低温から稲体を保護することで新根の発生を促し、活着を促進します。

活着後は水深2～3cmの浅水管理で分げつ促進

分げつの発生を促すため、浅水管理・日中止水で水温・地温を高めましょう。

圃場内の水温を維持するため、入水は温度変化の少ない夜間又は早朝に行います。

※ただし、低温強風時は水深4～5cmにして稲体を保護しましょう。

◎除草剤使用時の水管理 ～効率的な除草を行う水管理～

除草剤は適期内早目に散布

高温により雑草の生育が早まることが予想されます。

ラベルをよく読み、雑草が小さいうちに一発除草剤を施用しましょう。

除草剤使用時は剤型に応じた水深を保つ

剤型に応じた水深を確保しましょう。

詳しくは「稲作だより第4号 本田初期編」をご覧ください。

使用後7日間は「止水管理」

使用後7日間は落水・かけ流しを行いません。

特に使用後3～4日間は湛水を保ち、田面が露出しないようにします。

急な降雨で田面水があふれないよう、水尻・水路の点検補修を行いましょ。

LINE公式アカウント「最上ベスト稲作」
登録者募集中！

最上地域の水稻に関する技術情報や、
研修会の案内などがスマホで受け取れます。



登録用QR

◎土壌の異常還元(ワキ)対策 ～水管理による生育改善～

水田に一步足を踏み込み、ワキの状態をチェック

例年、6月上中旬頃に稲の葉色が淡く(黄色く)なる圃場がみられます。

主な原因は、高温による土壌の異常還元(ワキ)です。

ワキが強まると写真のとおり根の伸長阻害等が起こり、水分・養分の吸収が不十分になります。

まずは水田に足を踏み入れ、表1を参考に圃場の状態をチェックしましょう。

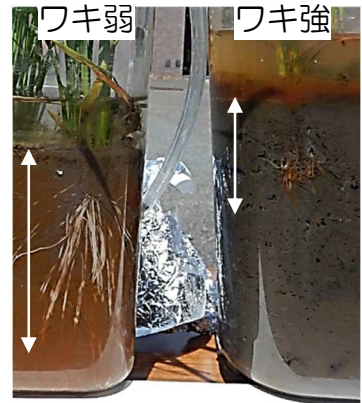


写真1 ワキの強弱による根の状態の違い
ポット栽培、移植20日後
R2 庄内農業技術普及課

ワキの程度に応じた水管理を行う

分けつの増え方が緩慢、葉色が淡いといった**症状がある場合は直ちに田干しや夜間落水**といった対策をとります。

また、ワキの悪影響を回避するには、稲に異常が現れる前の「**早めの対策**」が重要です。

気泡の発生状況や天気予報の気温予想を考慮して、表1を参考に、**ワキの発生程度に応じた水交換、夜間落水、田干し**を行いましょ。



写真2 ワキにより盛んに気泡が発生する様子

表1 ワキの強さによる圃場の状態と対策

水田の状況	生育への影響	対策	
		分けつ初中期	分けつ盛期
水田に足を踏み込むと僅かに気泡が発生する	なし		
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換	水交換
水田に足を踏み込むと盛んに気泡が発生する	根張り不良	水交換	水交換
晴天時、自然に気泡が発生し、音が聞こえる また、水田を歩くと著しく気泡が発生する	根の伸長阻害 地上部黄化	夜間落水	間断かんがい 夜間落水

一発除草剤散布前の水交換で先手の対策

一発除草剤散布後の止水期間は水交換ができず、ワキが強まってしまう。

あらかじめ**一発除草剤散布前に水交換や軽い田干し**を行い、**ワキの状態をリセット**することで稲へのダメージを防ぐことができます。



山形県農作業事故防止啓発運動実施中!
春季運動強化期間 4月10日～6月10日